

視察・研修報告書

視察・研修先	実践（体験型研修） どう創るチーム議会
日 時	2024年4月10日（水） 14時～17時
場 所	大野城心のふるさと館 3階 講座学習室
テーマ	① チーム議会はなぜ必要か？ ～先進事例と議会改革の歴史から学ぶ～ ② 議員間で積極的に対話をしよう！ ～大野城市の未来を創るまちづくりとは？～
対応者 （講師）	神吉 信之（ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州） ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州代表 輝け！議会による議会活性化フォーラム呼びかけ人代表
概 要	
<p>1. チーム議会はなぜ必要か？ ～先進事例と議会改革の歴史から学ぶ～</p> <p style="text-align: center;">住民起点の議会をつくろう！！</p> <p style="text-align: center;">議会が仕事しているイメージがない （市民目線）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議員はいつ仕事しているの？ ・ 年に4回の定例会の時期以外は会議もないらしい ・ 毎日役場に出勤しているわけではない ・ 議会は政策を作っているの？ ・ 議会で議論をして政策が良くなったことがあるの？ ・ ほとんど原案通り可決しているらしい <p>◎議会って仕事しているようには思えない</p> <p style="text-align: center;">議会は仕事しています （議員目線）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前非公開公式調整という仕事 ・ 本来であれば段取りの調整としての仕事 ・ 政策の中身については、実際にはここでポイント ・ 議案が議会に提出されたときにはもう「決着」 ・ 問題は政策の内容についての議論まで段取りの中で事実上「決着」をつけてしまうこと ・ 形骸化した議会の公式審議 ・ 重箱の隅質疑＋ガス抜き討論→粛々と原案可決 <p>議会への関心度</p> <p>46. 7%が地方議会の役割「知らない」と回答</p> <p>18歳意識調査調（日本財団）</p> <p>東京都小金井市議会 関心がある 52.1% 関心がない47.2%</p>	

※関心がない理由

何をしているのか分からない 39.7% 生活にあまり関係ない 9.1%

市民と議員との意識のギャップこそが問題

どんな議会がいい議会？チーム議会はなぜ必要？

- ・議会のミッションが想像できない現状
- ・議会が活発で機能していて、自治体にとって望ましい状態というのはどういうことなのか？
- ・抽象的には（例：政策のチェック役、政策の提案・立案者）言えても、具体像は浮かばない
- ・公開の場での議論なき意思決定は民主主義ではない

議会の存在意義は？

～議会は、合議制代表機関ならではの役割

- ・複数の視点で討議ができる
- ・一人の視点から見ると、多角的で深い論点が見えてくる
- ・討議を通して論点が社会に伝わる（議会の報道機能）
- ・「民意」は選挙時だけのものではない
- ・議会の論議が伝わることによって世論が形成される

◎その民意に耳を傾けながら、結論を出すことができるから
本当の民主主義＝議会の存在意識

議会の使命（ミッション）とは？

栗山町議会基本条例前文の規定

議会は、その持てる権能を十分に駆使して、自治体事務の立案、決定、執行、評価における「論点」「争点」を広く中町民に明らかにする責務を有している。自由かつ達な討議を通して、これら「論点」「争点」を発見、公開することは討論の広場である議会の第一の使命である。

◎議決以上に、討議過程を通して「論点」「争点」を発見公開することを重視

議会は「地方自治体の重要な意思決定を議決する」と規定した。議員も「住民の負託を受け、切実にその職務を行わなければならない」と定めた

「こども基本法」こどもや若者に関する政策を決める際には、こどもや若者の意見を聴くことが、国とすべての自治体に義務つけられた
若者の「語る力」×大人の「聴く力」

多くの議会で導入している議会モニター制度＋議会サポーター制度
(北海道栗山町議会)

- ・議会を市民と有権者の目で点検
- ・「議会力を向上させ、首長と切磋琢磨する議会」を目標に

多様性のある議会

- ・子育て議員に優しく(埼玉県議会)
- ・オンライン委員会(取手市議会、登別市議会、熊本県議会、北九州市議会など、多数)
- ・オンライン一般質問(取手市議会、つくば市議会、登別市議会)
- ・パワーハラスメント防止条例(福岡県議会、筑紫野市議会など)

子育て議員に優しく 柔軟な対応(埼玉県議会)

- ・子連れ登庁OK
- ・議事堂内に子育てスペース、テレビモニターで議会中継が見られる
- ・審議中ベビーシッターが見守る
- ・女性に配慮し審議一時間で10分休憩
- ・男女兼用だった休養室に女性専用を設ける

地方議会改革の歩み

- ① 議会改革の予兆
- ② 夕張ショックと議会基本条例
- ③ 議会改革の第二のステージ
- ④ 議会事務局改革
- ⑤ 市民参加・協働型議会
- ⑥ 有権者を育てる(主権者教育)
- ⑦ 議会の「見えるか」「見せるか」＋サイレントマジョリティーの声を議会に働き方改革、緊急対応も

無関心が最大の敵となる

2. WC(フィッシュボール方式による体験研修)

テーマ「これからのまちづくりに必要なこと」思いついたことを模造紙に記入していく

- ・市民と対話する
- ・一番聞くことが大切
- ・一般論は、話さない
- ・否定はしない、そのような考えがあるが

<まとめ>

チーム議会ができること

- ・人材不足、なり手不足
- ・行政からの情報も吸い上げていく
- ・疑問点それにたいして関係団体からのヒヤリング
- ・予算の硬直化を防ぐ
- ・課題に対する勉強会をはじめて、特別委員会をその後開催する
- ・パブリックイメージを議会ですす
- ・システムの提案
- ・団体の方からの意見を吸い上げて市に提言していく

所 感

外から見ての議会について、勉強した。地域資本でマニフェスト、外部の力をかりていく話す力より聴く力、初めての経験 多様な人達、聞いて回ることいろんな人から助けをもらうことが大切。議会報告会などの出前講座を使い、成果の見せる化。このようなことが変わった。変化したところを市民の方へお示しして、議会について知ってもらう。

情報発信の仕方、イメージ作りが大切になる。つなげていくこと、行政では手が届かないところをチーム議会として行うことが今後大切になっていく

今後もフリートークを入れていき、会派を超えて議員が集まり、対話していくことにより振り返りができる。環境を少しかえてみる。一番の課題はコミュニケーション不足なので、日々対話していきことが大切となる。

-作成者 岡部 かおり -